

6. デリバティブ取引（ヘッジ会計適用分）の概要【単体】

(億円)

		13年9月末			
				ネット評価損益 ①-②	③繰延べている 損益
		資産 ①	負債 ②		
	金利スワップ	8,751	3,878	4,873	2,042
	通貨スワップ	1,341	1,182	159	157
	その他	1,149	1,525	△ 376	△ 460
	合計	11,241	6,585	4,656	1,739

(注) 1. デリバティブ取引については、「金利スワップの特例処理」を適用しているものを除き、時価をもって貸借対照表価額として計上しております。（上表の①と②）

2. 損益処理方法については以下の通りです。

- ・ヘッジ会計の方法として、主にマクロヘッジの一手法である「リスク調整アプローチ」を適用し、繰延ヘッジ会計処理を行っております。
- ・繰延ヘッジ会計処理とは、ヘッジ手段であるデリバティブ取引の損益（時価会計）のうち、ヘッジ対象の損益（発生主義会計）に対応しない部分を資産又は負債として繰延べる方法です。
具体的には、デリバティブ取引に係るネット評価損益（上記表の①-②）から発生主義会計の場合に計上する経過利息相当額を除いた金額が繰延べている損益（上記表の③）となります。
- ・ヘッジ対象の受払条件を変換することを目的とし、想定元本、利息の受払条件及び契約期間等について一定の要件を満たすスワップ取引については金融商品会計基準に基づく「金利スワップの特例処理」により時価評価せず、従来と同様に発生主義により損益を認識しております。

(補足)金利スワップ(繰延ヘッジ会計適用分)の残存期間別想定元本は以下のとおりです。

(億円)

		13年9月末			
		1年以内	1年超5年以内	5年超	合計
	うち受取固定・支払変動	179,056	242,884	27,428	449,368
	うち受取変動・支払固定	144,962	115,172	28,255	288,389
	うち受取変動・支払変動	1,298	1,955	2,986	6,239
	金利スワップ想定元本合計	325,316	360,011	58,669	743,996